

KENWOOD

TS-2000 シリーズ

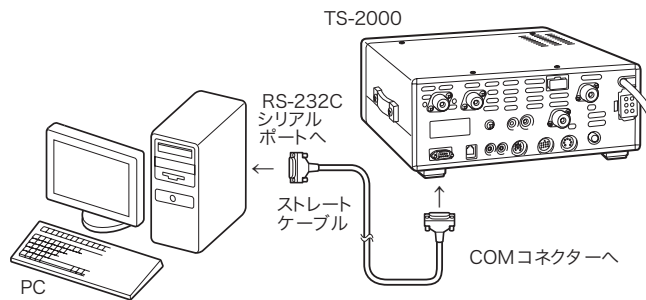
PCコマンド集

株式会社 JVCケンウッド

© 2015 年 09 月 18 日

PC コマンド

PC からコマンドを送って、本機をリモート・コントロールできます。
また、本機が受信した周波数などを PC の画面に表示させることもできます。
リモートコントロールのコマンドは別表の「PC コマンドリスト」をご覧ください。



注意：

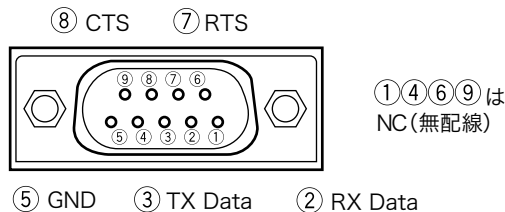
- ◆ RS-232C ケーブルは、当社では扱っておりません。市販品をお買い求めください。

接続

本機の COM コネクターと PC の RS-232C シリアルポートをストレートケーブルで直接接続します。

注意：

- ◆ 接続前に無線機、PC などの電源は必ず OFF にしてください。
- ◆ USB - シリアル変換ケーブルを使用される場合、USB - シリアル変換ケーブルの種類や、OS、ドライバーの組み合わせなどの条件によっては正常に動作しない場合があります。



COM コネクター／背面パネル側から見た図

端子 No.	端子名	機能	I/O
1, 4, 6, 9	NC	無配線	—
2	RXD	無線機から PC 側の RXD へ、シリアルデータを出力します。	O
3	TXD	PC 側の TXD から無線機へ、シリアルデータを入力します。	I
5	GND	信号グラウンド	—
7	RST	PC 側の RTS から無線機へ入力します。PC が受信データを受け入れられないときは、無線機に対して“L”レベルを出力し、送信データ出力を禁止します。	I
8	CTS	無線機から PC 側の CTS へ出力します。無線機が受信データを受け入れられないときは、PC に対して“L”レベルを出力し、受信データ入力を禁止します。	O

データ通信の定格

コマンドは、PC の RS-232C から、本機の COM コネクターを介してデータ通信されます。COM コネクター側のデータ通信の定格は下表のとおりです。

RS-232C の設定をこの定格に合わせてください。

通信方式	シリアルインターフェース	
通信速度	メニュー No.56 により設定する。	
通信方式	1	
ビット構成	スタートビット	1
	キャラクタ長	8 ビット
	ストップビット	メニュー No.56 により設定する。
パリティチェック	なし	
信号形式	RS-232C	

通信速度とストップビットの設定

通信速度とストップビットはメニュー No. 56 で選びます。初期設定は 9600bps です。

通信速度 (bps)	ストップビット
4800	2
9600	1
19200	1
38400	1
57600	1
115200	1

注意：

- ◆ TS-2000 シリーズ、TS-590 シリーズ、TS-590 G シリーズ、TS-990 シリーズ、TS-480 シリーズ、TS-870 シリーズ、TS-570 シリーズは 9600bps / 1 ビットです。
- ◆ PC 側のソフトの通信速度とメニュー No.56 の設定が異なると、正常に動作しない場合があります。この場合は、メニュー No. 56 の設定または PC 側の設定を変更して、動作スピードを合わせてください。

コマンドの送りかた

PC にコマンドを送ってコントロールするには下記の方法などがあります。

- プログラミング言語を使用してソフトウェアを作成する。
- 既存の通信ソフトを利用する。
シリアルポートを操作できる一般的な通信ソフトを、「データ通信の定格」に合わせてお使いください。
- オプションの ARCP-2000 などのソフトウェアを使用する。

エラーメッセージ

エラーが生じた場合、無線機は PC にエラーメッセージ "?;" を送ります。

? ;	<ul style="list-style-type: none"> ・ コマンドのフォーマットが間違っている。 ・ フォーマットは合っているが、無線機がそのコマンドを受け付けられない状態にある。 (コマンドを受け付けられないときは、エラーメッセージを戻さないこともあります。)
-----	---

コマンドの構成

コマンドの構成は下記の例のとおりです。

例 VFO A に 7MHz の周波数を入力する。

FA 00007000000 ;

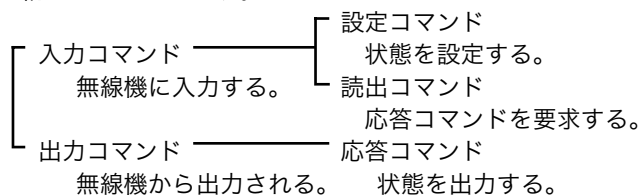
|
|
|

コマンド
パラメータ
ターミネータ

- コマンド：** コマンドは 2 文字の英文字です。
大文字・小文字を問いません。
- パラメータ：** パラメータは桁数を正確に各コマンドのフォーマットに合わせてください。
機種によってはフォーマットが異なる場合があります。すでにあるプログラムを使用する場合はご注意ください。
パラメータが付かないものもあります。
3 桁のパラメータの場合は 999 まで入力できますが、有効値は各コマンドで指定している値です。
- ターミネータ：** セミコロンはコマンドの終了を意味します。ターミネータの位置は正確に各コマンドのフォーマットに合わせてください。

コマンドの種類

コマンドには、設定コマンド、読出コマンド、応答コマンドの 3 種類があります。入力系、出力系で分けると下記ようになります。



例えば FA コマンド (VFO A の周波数) の場合

- VFO A の周波数を 7MHz に設定するとき、
PC から無線機に下記のコマンドを送ります。
FA00007000000;
- VFO A の周波数を読みたいときは、
PC から無線機に下記のコマンドを送ります。
FA;
- 読出すコマンドを受け付けると、
無線機から PC に下記の応答コマンドが送り返されます。
FA00007000000;

PC コマンド

PC コントロールコマンドリスト

コマンド	ストップビット	機能	設定	読み出し	応答
AC	ANTENNA TUNER CONTROL	アンテナチューナーの IN/THROUGH と、TUNE の ON/OFF 設定、読み出し	○	○	○
AG	AF GAIN	AF ゲインの設定、読み出し	○	○	○
AI	AUTO INFORMATION	オートインフォメーションの設定、読み出し	○	○	○
AL	AUTO NOTCH LEVEL	オートノッチ追従速度の設定、読み出し	○	○	○
AM	AUTO MODE	オートモードの設定、読み出し	○	○	○
AN	ANTENNA NUMBER	アンテナ切り替えの設定、読み出し	○	○	○
AR	AUTO REVERSE(ASC)	ASC の ON/OFF 設定、および交信可能・交信不可能の読み出し	○	○	○
AS	AUTO MODE SET	オートモードで使用する周波数区分の設定、読み出し	○	○	○
BC	BEAT CANCELER	ビートキャンセラーの設定、読み出し	○	○	○
BD	BAND DOWN	バンドダウンスイッチの動作を行う	○	—	—
BP	MANUAL BEAT CANCELER POINT	マニュアル・ビートキャンセラーのポイント設定、読み出し	○	○	○
BU	BAND UP	バンドアップスイッチの動作を行う	○	—	—
BY	BUSY	BUSY 信号の読み出し	—	○	○
CA	CW AUTO TUNING	CW オートチューニング設定、読み出し	○	○	○
CG	CARRIER GAIN	キャリアゲインの設定、読み出し	○	○	○
CH	CHANNEL DOWN/UP	MULTI/CH つまみと同じ機能	○	—	—
CI	CALL INPUT	CALL チャンネルへの周波数設定	○	—	—
CM	P.C.T. MODE	パケットクラスターチューニングモードへの設定、読み出し	○	○	○
CN	CTCSS NUMBER	CTCSS 周波数の設定、読み出し	○	○	○
CT	CTCSS	CTCSS の ON/OFF 設定、読み出し	○	○	○
DC	DESTINATION CODE	PTT バンドおよび操作バンドの設定、読み出し	○	○	○
DN	DOWN	マイクロホンの DOWN スイッチ動作	○	—	—
DQ	DIGITAL CODE SQUELCH	DCS (デジタルコードスケルチ) の設定、読み出し	○	○	○
EX	EXTENSION MENU	メニューの設定、読み出し	○	○	○
FA	FREQUENCY VFO A	VFO A の周波数設定、読み出し	○	○	○
FB	FREQUENCY VFO B	VFO B の周波数設定、読み出し	○	○	○
FC	FREQUENCY C(SUB)	SUB VFO の周波数設定、読み出し	○	○	○
FD	RX FILTER DOT DISPLAY	受信フィルターのドット表示データの読み出し	—	○	○
FR	FUNCTION RX	受信 (VFO A,B とメモリーチャンネルなど) の設定	○	○	○
FS	FINE STEP	FINE 機能の設定、読み出し	○	○	○
FT	FUNCTION TX	送信 (VFO A,B とメモリーチャンネルなど) の設定	○	○	○
FW	FILTER WIDTH	受信フィルター幅の設定、読み出し	○	○	○
GT	AUTO GAIN CONTROL TIME CONSTANT	AGC の時定数設定、読み出し	○	○	○
ID	IDENTIFICATION	機種を認識するための、MODEL ID の読み出し	—	○	○
IF	INFORMATION	セットの状態の読み出し	—	○	○
IS	IF-SHIFT	IF シフトの設定、読み出し	○	○	○
KS	KEY SPEED	KY コマンドによるキーイングスピードの設定、読み出し	○	○	○
KY	CW KEYING	入力された文字をモールスコードに変換してキーイングする	○	○	○
LK	LOCK	ロック状態の設定、読み出し	○	○	○
LM	LOAD MESSAGE	DRU、エレクトロニックキーヤーの録音状態設定、読み出し	○	○	○
LT	AUTO LOCK TUNE	オートロックチューン機能の設定、読み出し	○	○	○
MC	MEMORY CHANNEL	メモリー・チャンネルの設定、読み出し	○	○	○

PC コマンド

コマンド	ストップビット	機能	設定	読み出し	応答
MD	MODE	モードの設定、読み出し	○	○	○
MF	MENU FUNCTION	メニュー A/B の設定、読み出し	○	○	○
MG	MIC GAIN	マイクゲインの設定、読み出し	○	○	○
ML	TRANSMIT MONITOR LEVEL	送信モニターレベルの設定、読み出し	○	○	○
MR	MEMORY READ	メモリーチャンネルの読み出し	—	○	○
MU	MEMORY GROUP USE SET	メモリーグループの設定、読み出し	○	○	○
MW	MEMORY WRITE	メモリーチャンネルの書き込み	○	—	—
NB	NOISE BLANKER	ノイズブランカーの設定、読み出し	○	○	○
NL	NOISE BLANKER LEVEL	ノイズブランカーレベルの設定、読み出し	○	○	○
NR	NOISE REDUCTION	ノイズリダクションの設定、読み出し	○	○	○
NT	NOTCH	ノッチフィルターの設定、読み出し	○	○	○
OF	OFFSET FREQUENCY	オフセット周波数の設定、読み出し	○	○	○
OI	OPPOSITE BAND INFORMATION	非操作バンドの状態を読み出す	○	○	○
OS	OFFSET	オフセットの設定、読み出し	○	○	○
PA	PRE-AMP	プリアンプの設定、読み出し	○	○	○
PB	PLAY BACK	DRU、エレクトロニックキーヤーの再生状態の設定、読み出し	○	○	○
PC	POWER CONTROL	送信出力の設定、読み出し	○	○	○
PI	PM INPUT	プログラムメモリーへの登録	○	—	—
PK	PACKETCLUSTER DATA	パケットクラスター情報の読み出し	—	—	○
PL	SPEECH PROCESSOR LEVEL	スピーチプロセッサ入出力レベルの設定、読み出し	○	○	○
PM	PROGRAM MEMORY READ	プログラムメモリーの読み出し	○	○	○
PR	SPEECH PROCESSOR	スピーチプロセッサの設定、読み出し	○	○	○
PS	POWER SWITCH	電源の ON/OFF 設定、読み出し	○	○	○
QC	DCS CODE	DCS コードの設定、読み出し	○	○	○
QI	QUICK MEMORY INPUT	クイックメモリーの登録	○	—	—
QR	QUICK MEMORY READ	クイックメモリーの設定、およびチャンネルデータの読み出し	○	○	○
RA	RF ATTENUATOR	RF ATT の設定、読み出し	○	○	○
RC	RIT CLEAR	RIT 周波数をクリアする	○	—	—
RD	RIT DOWN	RIT/XIT 周波数を DOWN する	○	○	○
RG	RF GAIN	RF GAIN の設定、読み出し	○	○	○
RL	NOISE REDUCTION LEVEL	ノイズリダクションレベルの設定、読み出し	○	○	○
RM	READ METER	メーターの選択とメーター値の読み出し	○	○	○
RT	RIT	RIT の設定、読み出し	○	○	○
RU	RIT UP	RIT/XIT 周波数を UP する	○	○	○
RX	RX	受信状態の設定	○	—	○
SA	SATELLITE	サテライトモードの設定、読み出し	○	○	○
SB	SUB	SUB、TF-W の設定、読み出し	○	○	○
SC	SCAN	各種 SCAN の設定、読み出し	○	○	○
SD	SEMI BREAK-IN DELAY TIME	セミブレイクインのディレイタイム設定、読み出し	○	○	○
SH	SLOPE TUNE HIGH	スロープチューン帯域の設定、読み出し	○	○	○
SI	SATELLITE INPUT	サテライトメモリーへの登録	○	—	—
SL	SLOPE TUNE LOW	スロープチューン帯域の設定、読み出し	○	○	○

PC コマンド

コマンド	ストップビット	機能	設定	読み出し	応答
SM	S METER	受信時は S メーター、送信時は RF メーターの値読み出し	—	○	○
SQ	SQUELCH LEVEL	スケルチレベルの設定、読み出し	○	○	○
SR	SYSTEM RESET	セットのリセット	○	—	—
SS	PROGRAM PAUSE SCAN SET	プログラムポーズスキンの周波数設定	○	○	○
ST	STEP	クリックエンコーダステップの設定、読み出し	○	○	○
SU	SCAN GROUP USE SET	プログラムスキニンググループおよびメモリスキニンググループの設定、読み出し	○	○	○
SV	MEMORY SHIFT VFO	メモリーシフト (M▶V 動作)	○	—	—
TC	TRANSCEIVER CONTROL	パソコンコントロールモード/パケットモード切り替え	○	○	○
TD	TX DTMF MEMORY	DTMF メモリー送信	○	—	—
TI	TNC INFORMATION	TNC の LED 情報の読み出し	—	○	○
TN	TONE NUMBER	サブトーン周波数の設定、読み出し	○	○	○
TO	TONE	サブトーンの設定、読み出し	○	○	○
TS	TF-SET	TF-SET の設定、読み出し	○	○	○
TX	TX	送信状態の設定、読み出し	○	—	○
UL	UNLOCK	PLL のロック状態の読み出し	—	—	○
UP	UP	マイクロフォンの UP スイッチ動作	○	—	—
VD	VOX DELAY TIME	VOX ディレイタイムの設定、読み出し	○	○	○
VG	VOX GAIN	VOX ゲインの設定、読み出し	○	○	○
VR	VOICE RECALL	音声合成の発声	○	—	—
VX	VOICE OPERATION X-MIT	VOX の設定、読み出し	○	○	○
XT	XIT	XIT の設定、読み出し	○	○	○

PC コマンド

AC	アンテナチューナーのIN/THROUGH、ON/OFFの設定、読み出し										パラメーター
Set	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 0: RX-AT THRU 1: RX-AT IN P2 0: TX-AT THRU 1: TX-AT IN P3 0: AT非動作中、ATチューニング停止 1: AT動作中、ATチューニング開始 2: チューニングが取れないとき ・RXのIN/THRU設定は出来ません。 ・TX THRU状態でATチューニング開始の指示を設定してもチューニングしません。
	A	C	P1	P2	P3	;					
Read	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	A	C	;								
Answer	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	A	C	P1	P2	P3	;					

AG	AFゲインの設定、読み出し										パラメーター
Set	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 0: メイン・バンド 1: サブ・バンド P2 000(min)~255(max)
	A	G	P1	P2	P2	P2	;				
Read	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	A	G	P1	;							
Answer	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	A	G	P1	P2	P2	P2	;				

AI	AUTO INFORMATIONの設定										パラメーター
Set	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 0: AI OFF 1: 旧AIのみON 2: 拡張AIのみON 3: 旧AI、拡張AIともにON ・拡張AI=応答コマンドのあるパラメーターに変化があった場合、それぞれの応答コマンドを出力します。
	A	I	P1	;							
Read	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	A	I	;								
Answer	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	A	I	P1	;							

AL	AUTO NOTCH LEVELの設定、読み出し										パラメーター
Set	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 000~004
	A	L	P1	P1	P1	;					
Read	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	A	L	;								
Answer	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	A	L	P1	P1	P1	;					

AM	オートモードの設定、読み出し										パラメーター
Set	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 0: オートモード OFF 1: オートモード ON
	A	M	P1	;							
Read	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	A	M	;								
Answer	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	A	M	P1	;							

AN	アンテナ切り替えの設定、読み出し										パラメーター
Set	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 0: ANT表示 OFF (Answerのみ) 1: ANT 1 2: ANT 2
	A	N	P1	;							
Read	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	A	N	;								
Answer	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	A	N	P1	;							

PC コマンド

AR	ASCのON/OFFの設定、および交信可能・交信不可能の読み出し										パラメーター
Set	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 0: メイン 1: サブ P2 0: ASC OFF 1: ASC ON P3 0: 交信不可能 1: 交信可能 ・設定はコントロールバンド側のみ変更が可能となるため、設定コマンドにおけるパラメータはP2のみ有効です。 ・応答コマンドにおけるパラメータP2は、ASC OFF(P1=0)時は不定となります。
	A	R	P1	P2	P3	;					
Read	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	A	R	P1	;							
Answer	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	A	R	P1	P2	P3	;					

AS	オートモードで使用する周波数区分の設定、読み出し										パラメーター
Set	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 0: HF~50MHz帯の設定 1: 144MHz帯の設定 2: 430MHz帯の設定 3: 1200MHz帯の設定 P2 (チャンネル指定 00~99) 00~28: HF~50MHz帯 00~08: 144, 430, 1200MHz帯 P3 (指定周波数) P4 0: 未使用 4: FM 7: CW-R 1: LSB 5: AM 8: 未使用 2: USB 6: FSK 9: FSK-R 3: CW 設定条件 ・設定するチャンネルは、前チャンネルの周波数より低い周波数に設定することは出来ません。 ・設定するチャンネルの周波数を後のチャンネルより高く設定すると、設定チャンネル以降の低い周波数のチャンネルは、設定する周波数と同じ周波数に補正されます。
	A	S	P1	P2	P2	P3	P3	P3	P3	P3	
	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
Read	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	A	S	P1	P2	P2	;					
Answer	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	A	S	P1	P2	P2	P3	P3	P3	P3	P3	
	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
	P3	P3	P3	P3	P3	P3	P4	;			

BC	ビットキャンセラーの設定、読み出し										パラメーター
Set	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 0: ビットキャンセラー OFF 1: ビットキャンセラー1 ON 2: ビットキャンセラー2 ON
	B	C	P1	;							
Read	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	B	C	;								
Answer	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	B	C	P1	;							

BD/BU	バンドアップ/ダウンスイッチの動作をおこないます。										パラメーター
Set	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	なし
	B	D/U	;								
Read											
Answer											

BP	マニュアル・ビットキャンセラーのポイント設定、読み出し										パラメーター
Set	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 000~063
	B	P	P1	P1	P1	;					
Read	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	B	P	;								
Answer	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	B	P	P1	P1	P1	;					

PC コマンド

BY	BUSY信号の読み出し										パラメーター P1 メインのBUSY 0: ビジー無し 1: ビジー有り P2 サブのBUSY 0: ビジー無し 1: ビジー有り
Set											
Read	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
Answer	B	Y	;								

CA	CW AUTO TUNINGの設定、読み出し										パラメーター P1 0: CWオートチューニング解除、非動作中 1: CWオートチューニング開始、動作中
Set	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
Read	C	A	;								
Answer	C	A	P1	;							

CG	キャリアゲインの設定、読み出し										パラメーター P1 000(min)~100(max)
Set	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
Read	C	G	;								
Answer	C	G	P1	P1	P1	;					

CH	MULTI/CHつまみと同じ機能										パラメーター P1 0: ステップUP 1: ステップDOWN MULTI/CHつまみと同じ処理がされます。
Set	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
Read	C	H	;								
Answer	C	H	P1	;							

CI	CALLチャンネルへの周波数設定										パラメーター なし ・VFOモードやMCHモードでの運用周波数、モードなどをCALLチャンネルに設定します。
Set	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
Read	C	I	;								
Answer	C	I	;								

CM	パケットクラスターチューニングモードへの設定、読み出し										パラメーター P1 0: パケットクラスターチューニングモード OFF 1: パケットクラスターチューニングモード ON
Set	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
Read	C	M	;								
Answer	C	M	P1	;							

PC コマンド

CN	CTCSS周波数の設定、読み出し										パラメーター P1 01～38の数字 ・ CTCSS周波数を 01～38までの番号で入力します。 (35ページ参照)										
Set	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10											
Read	C	N	P1	P1	;																
Answer	C	N	P1	P1	;																

CT	CTCSSのON/OFF設定、読み出し										パラメーター P1 0: CTCSS OFF 1: CTCSS ON										
Set	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10											
Read	C	T	P1	;																	
Answer	C	T	P1	;																	

DC	PTTバンド及び操作バンドの設定、読み出し										パラメーター P1 0: MAIN PTTバンド指示 1: SUB PTTバンド指示 P2 0: MAIN 操作バンド指示 1: SUB 操作バンド指示 ・ P1に変化があった時は、P2も同じ値に設定されます。										
Set	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10											
Read	D	C	P1	P2	;																
Answer	D	C	P1	P2	;																

DN/UP	マイクロホンのUP/DOWNスイッチと同じ動作										パラメーター P1 00～99の数字 ・ パラメーター無し時「" DN;" " UP;" 」は1ステップとして動作します。 ・ パラメータデータが02～99時は一度に指定されたステップ分の周波数は切り替えないで、数回に分けて周波数が設定されます。 ・ メモリーモードおよびクイック・メモリーモードのときに、パラメータを付けると周波数の可変となり、パラメータを付けない時はメモリーチャンネルの可変となります。										
Set	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10											
Set	D	N	P1	P1	;																
Set	U	P	P1	P1	;																

DQ	DCS (デジタルコードスケルチ) の設定、読み出し										パラメーター P1 0: DCS OFF 1: DCS ON										
Set	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10											
Read	D	Q	P1	;																	
Answer	D	Q	P1	;																	

PC コマンド

EX	メニューの設定、読み出し										パラメーター P1 (メニュー番号大項目) 0+メニューNo.を入力します。 例 28は028 P2 (メニュー番号中項目) 通常は00を入力します。 メニューNo.がA,B,Cと分かれている場合は A=01,B=02,C=03,D=04,E=05,F=06を入力します。 P3 (メニュー番号小項目1) 0を入力します。 ・ただし、メニューNO.45AのパラメーターP3は0~9で DTMFメモリーCHを表します。 P4 (メニュー番号小項目2) 0を入力します。 P5 (メニュー選択肢) 詳細は下記および次ページの「EXコマンドのパラメータP5」の表を参照してください。P5は可変長パラメーターです。 設定条件 ・P5は通常0~9の1桁入力です(下記のメニューを除く)。 例1 メニュー00 デイマー設定 EX00000000 ; デイマーOFF EX00000003 ; デイマー3設定 例2 メニュー28C 144MHz 帯リニアアンプコントロール EX02803000 ; OFF ・メニューNO.29B、31、33、51A~E、59のパラメーターP5は2桁で設定します。 ・メニューNO.61CのパラメーターP5は000~999の3桁設定とします。	
	Set	1	2	3	4	5	6	7	8	9		10
		E	X	P1	P1	P1	P2	P2	P3	P4		P5
		11	12	13	14	15	16	17	18	19		20
		P5	P5	P5	P5	P5	P5	P5	P5	P5		P5
Read	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		
	P5	P5	P5	P5	P5	;						
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
	E	X	P1	P1	P1	P2	P2	P3	P4	;		
Answer	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20		
	P5	P5	P5	P5	P5	P5	P5	P5	P5	P5		
	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		
	P5	P5	P5	P5	P5	;						

メニューNo.	機能	EXコマンド、パラメーターP5										
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	左記以上の場合
00	デイマー切り替え	OFF	1	2	3	4						
01	バックリットの切り替え	OFF	ON									
02	メインエンコーダー1回転の変化量	500	1000									
03	メインエンコーダーとクリックエンコーダーの連動	OFF	ON									
04	クリックエンコーダー丸め処理	OFF	ON									
05	BCバンド内 (AM) の専用ステップ切り替え	OFF	ON									
06A	メモリーチャンネルとのたすぎがけ	OFF	ON									
06B	標準メモリー周波数の一時可変	OFF	ON									
07	プログラムスロースキャン機能	OFF	ON									
08	プログラムスロースキャン設定	100	200	300	400	500		[Hz]				
09	プログラムスキャンホールド	OFF	ON									
10	BUSYストップの切り替え	TO	CO									
11	ビジュアルスキャン表示範囲	31	61	91	181			[CH]				
12	BEEP音量の設定	OFF	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
13	サイドトーン音量の設定	OFF	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
14	DRU3モニター音量の設定	OFF	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
15	VS3モニター音量の設定	OFF	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
16	SP2/ヘッドフォン出力パターン設定1	0	1	2								
17	SP2/ヘッドフォン出力パターン設定2	OFF	ON									
18	外部受信アンテナの使用	OFF	ON									
19A	FMSメータースケルチ機能	OFF	ON									
19B	FMSメータースケルチヒステリシス設定	OFF	125	250	500			[ms]				
20	受信イコライザーの切り替え	OFF	H BOOST	F PASS	B BOOST	CON VEN	USER					
21	送信イコライザーの切り替え	OFF	H BOOST	F PASS	B BOOST	CON VEN	USER					
22	送信フィルター帯域幅の切り替え	2.0	2.2	2.4	2.6	2.8	3.0	[kHz]				
23	パワーファイン	OFF	ON									
24	TOTタイムアウトタイマー設定	OFF	3	5	10	20	30	[min]				
25	Xバータ機能の設定	OFF	ON									
26	ATチューン終了時の送信保持機能	OFF	ON									
27	受信時のAT動作	OFF/	ON									

PC コマンド

メニュー No.	機能	EXコマンド、パラメーターP5										左記以上の場合
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
28A	HF リニアアンプコントロール	OFF	1	2								
28B	50MHz帯リニアアンプコントロール	OFF	1	2								
28C	144MHz帯リニアアンプコントロール	OFF	1	2								
28D	430MHz帯リニアアンプコントロール	OFF	1	2								
28E	1200MHz帯リニアアンプコントロール	OFF	1	2								
29A	音声/メッセージ再生リピート	OFF	ON									
29B	音声/メッセージ再生リピート時間の設定	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	~60s 1sステップ
30	インサートキーイングのON/OFF	OFF	ON									
31	ピッチ/サイドトーン周波数の設定	400	450	500	550	600	650	700	750	800	850	~1000[Hz] 50Hzステップ
32	CWライズタイム設定	1	2	4	6			[ms]				
33	KEYER ウェイト設定	AUTO	2.5	2.6	2.7	2.8	2.9	3.0	3.1	3.2	3.3	~4.0 0.1ステップ
34	KEYERオートウェイトリバースON/OFF	OFF	ON									
35	バグキーモード	OFF	ON									
36	SSBモードからのキーイングによる自動CW送信	OFF	ON									
37	SSBモードからCWモード時の周波数補正	OFF	ON									
38	FSKシフト幅の切り替え	170	200	425	850			[Hz]				
39	FSK KEY 極性の切り替え	NORMAL	INVERSE									
40	FSK トーン切り替え	1275	2125					[Hz]				
41	FM MC ゲインの切り替え	LOW	MID	HIGH								
42	FMサブトーンモードの切り替え	BURST	CONT									
43	オートリピーターオフセット機能	OFF	ON									
44	1750Hz トーン送信保持機能	OFF	ON									
45A	DTMF メモリー登録											
45B	DTMF メモリー送信スピード設定	SLOW	FAST									
45C	DTMF メモリーのポーズ時間設定単位	100	250	500	750	1000	1500	2000		[ms]		
45D	MIC リモート機能の設定	OFF	ON									
46	内蔵TNCバンド切り替え	MAIN	SUB									
47	内蔵TNCの通信スピード設定	1200	9600					[bps]				
48	DCDセンス切り替え	TNC BAND	MAIN & SUB									
49A	パケットクラスタチューニングモード切り替え	AUTO	MANUAL									
49B	パケットクラスタ受信確認音	OFF	MORSE	VOICE								
50A	パケットフィルター帯域幅の切り替え	OFF	ON									
50B	パケット AF 入力レベルの設定	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
50C	パケット AF メイン出力レベルの設定	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
50D	パケット AF サブ出力レベルの設定	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
50E	外部データバンド切り替え	MAIN	SUB									
50F	外部データ端子の通信スピード設定	1200	9600					[bps]				
51A	パネルPF機能の設定											
51B	MIC PF1機能の設定											
51C	MIC PF2機能の設定											
51D	MIC PF3機能の設定											
51E	MIC PF4機能の設定											
52	スプリット転送機能	OFF	ON									
53	スプリット転送データのVFO書き込み	OFF	ON									
54	送信禁止機能	OFF	ON									
55	パケット通信モード	OFF	ON									
56	PC-F 通信速度・ストップビットの切り替え	4800	9600	19200	38400	57600		[bps]				
57	APO(オートパワーオフ)機能	OFF	60	120	180			[min]				
58	RC-2000の簡単モード時に表示するフォント設定	FONT1	FONT2									
59	コントラスト設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	~16 1ステップ
60	RC-2000のネガポジ反転	NEGATIVE	POSITIVE									

PF機能 (p.77) 参照

PC コマンド

FA/FB VFO A/VFO Bの周波数設定、読み出し (2桁目は、VFO AのときはA、VFO BのときはBです。)		パラメーター P1 周波数 (1kHzオーダーで11桁表示) 未使用桁には“ 0” を入力します。
Set	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	
	F A/B P1 P1 P1 P1 P1 P1 P1 P1	
	11 12 13 14 15 16 17 18 19 20	
Read	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	
	F A/B ;	
	11 12 13 14 15 16 17 18 19 20	
Answer	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	
	F A/B P1 P1 P1 P1 P1 P1 P1 P1	
	11 12 13 14 15 16 17 18 19 20	
		P1 P1 P1 ;

FC SUB VFOの周波数設定、読み出し		パラメーター P1 周波数 (1kHzオーダーで11桁表示) 未使用桁には“ 0” を入力します。 ・現在のステップ周波数で割り切れない周波数を設定した場合は、無線機が自動的に補正します。
Set	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	
	F C P1 P1 P1 P1 P1 P1 P1 P1	
	11 12 13 14 15 16 17 18 19 20	
Read	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	
	F C ;	
	11 12 13 14 15 16 17 18 19 20	
Answer	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	
	F C P1 P1 P1 P1 P1 P1 P1 P1	
	11 12 13 14 15 16 17 18 19 20	
		P1 P1 P1 ;

FD 受信フィルターのドット表示データの読み出し		パラメーター P1 受信フィルターのドット表示ビット指定 00000000~FFFFFFFD(16進数) ・ドット表示データ(8桁)を2進数に変換した32ビットのデータの各ビットが、30あるドットのON/OFFに対応しています。ドットが点灯していれば対応するビットがONになり、消灯していればOFFになります。(下位2ビットは対応するドットが無いので常にOFFとなります。) 32ビットのデータのMSBが左端のドットに対応し、LSBから3ビット目が右端のドットに対応しています。
Set		
Read	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	
	F D ;	
	11 12 13 14 15 16 17 18 19 20	
Answer	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	
	F D P1 P1 P1 P1 P1 P1 P1 P1	
	11 12 13 14 15 16 17 18 19 20	
		;

FR/FT 送信、受信をVFO A、VFO B、M.CH、CALLなどに設定する (2桁目は、FRのときはR、FTのときはTです。)		パラメーター P1 0: VFO A 1: VFO B 2: M.CH 3: CALL ・FRコマンドで受信ファンクション及び送信ファンクション(シンプレックス)を指示し、FTコマンドで送信ファンクションを指示します。 ・パラメーターP1=3のときはCALLチャンネルとします。FRおよびFTコマンドは、コントロールバンド側に対しての設定または読み出しコマンドとして動作します。
Set	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	
	F R/T P1 ;	
	11 12 13 14 15 16 17 18 19 20	
Read	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	
	F R/T ;	
	11 12 13 14 15 16 17 18 19 20	
Answer	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	
	F R/T P1 ;	
	11 12 13 14 15 16 17 18 19 20	

PC コマンド

FS	FINE機能の設定、読み出し										パラメーター P1 0: FINE機能 OFF 1: FINE機能 ON	
	Set	1	2	3	4	5	6	7	8	9		10
	Read	F	S	;								
	Answer	F	S	P1	;							

FW	受信フィルター幅の設定、読み出し										パラメーター P1 0000~9999 (単位=Hz) CW: 50, 80, 100, 150, 200, 300, 400, 500, 600, 1000, 2000 FSK: 250, 500, 1000, 1500 FM/AM: 0000=ナロー, 0001=ワイド ・SSB時はスロープチューンとなるので設定は出来ません。	
	Set	1	2	3	4	5	6	7	8	9		10
	Read	F	W	;								
	Answer	F	W	P1	P1	P1	P1	;				

GT	AGC時定数の設定、読み出し										パラメーター P1 000=OFF 001(min)~020(max) ・FMモードでは設定出来ません。 FMモードでの応答コマンドでの時定数はスペース3バイトが応答されます。	
	Set	1	2	3	4	5	6	7	8	9		10
	Read	G	T	;								
	Answer	G	T	P1	P1	P1	;					

ID	機種を認識するための、MODEL IDの読み出し										パラメータ P1 019: TS-2000 ※参考 IDの番号は、それぞれ以下の機種に対応しています。 001: TS-711, 002: TS-811, 003: TS-940, 004: TS-440, 005: R-5000 006: TS-680/TS-140, 007: TS-790, 008: TS-950, 009: TS-850, 010: TS-4500, 11: TS-690, 012: TS-950SDX, 013: TS-50, 014: TS-60 015: TS-870, 016: TK-80 (海外向けモデル・業務用HF機), 017: TS-570D (海外向けモデル・HFのみ) 018: TS-570 (HF+50MHz), 019: TS-2000, 020: TS-480, 021: TS-590 022: TS-990, 023: TS-590G	
	Read	1	2	3	4	5	6	7	8	9		10
	Answer	I	D	;								
	Answer	I	D	P1	P1	P1	;					

IF	セットの状態の読み出し										パラメーター P1: 表示周波数を1kHzオーダーで11桁表示 例: 00014175000=14.175MHz P2: スペース P3: RIT/XIT周波数と±を1Hzオーダーで5桁表示+はスペースでも代用可。例: +5320=5.32kHz P4: 0=RIT OFF, 1=RIT ON P5: 0=XIT OFF, 1=XIT ON P6, P7: バンク指定、チャンネルNo.(MCコマンドパラメータ参照) P8: 0=RX, 1=TX P9: モード(MDコマンドパラメータ参照) P10: ファンクション(FR/FTコマンドパラメータ参照) P11: スキャン状態(SCコマンドパラメータ参照) P12: スプリット状態(SPコマンドパラメータ参照) P13: 0=OFF, 1=TONE, 2=CTCSS, 3=DCS P14: 01~39TONE番号(TNコマンドパラメータ参照) P15: オフセット(OSコマンドパラメータ参照) ・操作バンド側の情報を返します。ただし、サブ・バンドのときは、サブ・バンドに無関係な情報は無視します。	
	Set	1	2	3	4	5	6	7	8	9		10
	Read	I	F	;								
	Answer	I	F	P1	P1	P1	P1	P1	P1	P1		P1
Answer	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20		
Answer	P1	P1	P1	P2	P2	P2	P2	P2	P3	P3		
Answer	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		
Answer	P3	P3	P3	P4	P5	P6	P7	P7	P8	P9		
Answer	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40		
Answer	P10	P11	P12	P13	P14	P14	P15	;				

PC コマンド

IS	IFシフトの設定、読み出し										パラメーター P1 スペース P2 CWモードのとき 0400~1000(50刻み)
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
Set	I	S	P1	P2	P2	P2	P2	;			・SSB/AM/FMモードはスロープチューンとなるので設定できません。 ・FSKモードはシフト切り替えが無いので設定できません。 ・シフト方向に±を設定するとエラーになります。
Read	I	S	;								
Answer	I	S	P1	P2	P2	P2	P2	;			

KS	KYコマンドによるキーイングスピードの設定、読み出し										パラメーター P1 010(min)~060(max) [WPM]
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
Set	K	S	P1	P1	P1	;					
Read	K	S	;								
Answer	K	S	P1	P1	P1	;					

KY	入力された文字をモールスコードに変換してキーイングする										パラメーター P1 設定コマンドでは必ずスペースを入力します。 応答コマンドでは0または1を入力します。 0: バッファ空き有り 1: バッファ空き無し P2 A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 及び以下の記号で入力します。 _ (word space)、' (single quotation)、" (double quotation)、((parenthesis)、) (parenthesis)、 * (asterisk)、+ (plus sign)、, (comma)、- (minus sign)、. (period)、/ (slash)、: (colon)、 = (equal)、? (question)
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
Set	K	Y	P1	P2	P2	P2	P2	P2	P2	P2	・設定は28文字の固定長です。文字の不足分はスペースを入力してください。ただし、スペースはモールスコードに変換されません。内部にバッファを用意し、24文字以上の文章にも対応しています。
	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
P2	P2	P2	P2	P2	P2	P2	P2	P2	P2	P2	
Read	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	P2	P2	P2	P2	P2	P2	P2	;			
Answer	K	Y	P1	;							

LK	ロック状態の設定、読み出し										パラメーター P1 0: 本体パネルLOCK OFF 1: 本体パネルF.LOCK ON 2: 本体パネルA.LOCK ON P2 0: モービルコントローラーLOCK OFF 1: モービルコントローラーLOCK ON
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
Set	L	K	P1	P2	;						
Read	L	K	;								
Answer	L	K	P1	P2	;						

LM	DRU、エレクトロニックキーヤーの録音状態設定、読み出し										パラメーター P1 0: 録音停止 (設定コマンドのみ) 0: 非録音時 1: 1ch録音状態、指示 2: 2ch録音状態、指示 3: 3ch録音状態、指示
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
Set	L	M	P1	;							
Read	L	M	;								
Answer	L	M	P1	;							

PC コマンド

LT	AUTO LOCK TUNE 機能の設定、読み出し										パラメーター
Set	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 0: ALT機能 OFF 1: ALT機能 ON
	L	T	P1	;							
Read	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	L	T	;								
Answer	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	L	T	P1	;							

MC	メモリー・チャンネルの設定、読み出し										パラメーター
Set	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 (スペース) : バンク無し 0~9 : バンク No. P2 00~99の数字 : チャンネルNo. ・メモリーチャンネルNo.99以下をバンク0、199以下をバンク1、299以下をバンク2として設定します。
	M	C	P1	P2	P2	;					
Read	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	M	C	;								
Answer	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	M	C	P1	P2	P2	;					

MD	モードの設定、読み出し										パラメーター
Set	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 0: 未使用 1: LSB 2: USB 3: CW 4: FM 5: AM 6: FSK 7: CW-R 8: 未使用 9: FSK-R
	M	D	P1	;							
Read	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	M	D	;								
Answer	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	M	D	P1	;							

MF	メニューA/Bの設定、読み出し										パラメーター
Set	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 0: メニューA 1: メニューB
	M	F	P1	;							
Read	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	M	F	;								
Answer	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	M	F	P1	;							

MG	MICゲインの設定、読み出し										パラメーター
Set	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 000(min)~100(max)
	M	G	P1	P1	P1	;					
Read	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	M	G	;								
Answer	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	M	G	P1	P1	P1	;					

ML	送信モニターレベルの設定、読み出し										パラメーター
Set	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 000: 送信モニターOFF 001(min)~009(max)
	M	L	P1	P1	P1	;					
Read	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	M	L	;								
Answer	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	M	L	P1	P1	P1	;					

PC コマンド

MR		メモリーチャンネルの読み出し									
Set											
Read		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
		M	R	P1	P2	P3	P3	;			
Answer		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
		M	R	P1	P2	P3	P3	P4	P4	P4	P4
		11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
		P4	P4	P4	P4	P4	P4	P5	P6	P7	
		21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
		P8	P8	P9	P9	P10	P10	P10	P11	P12	P13
		31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
		P13	P13	P13	P13	P13	P13	P13	P13	P14	P14
		41	42	43	44	45	46	47	48	49	50
		P15	P16	P16	P16	P16	P16	P16	P16	P16	;

パラメーター

- P1: スプリット指定。0=RX、1=TX
- P2、P3: バンク指定。チャンネル番号 (MC コマンド参照)
- P4: 周波数を 1kHz オーダーで表示。未使用桁は 0 を入力。
- P5: モード。(MD コマンド参照)
- P6: 0=ロックアウト OFF、1=ロックアウト ON
- P7: 0=OFF、1=TONE、2=CTCSS、3=DCS
- P8: TONE 周波数 (TN コマンド参照)
- P9: CTCSS 周波数 (CN コマンド参照)
- P10: DCS コード (QC コマンド参照)
- P11: リバース情報
- P12: シフト情報 (OS コマンド参照)
- P13: オフセット情報 (OF コマンド参照)
- P14: ステップ (ST コマンド参照)
- P15: メモリーグループ (0~9 で示されます)
- P16: メモリーネーム。最大 8 バイトの可変長です。

- 指定したメモリーチャンネルが空きチャンネルのときは、全て 0 を返します。
- メモリーチャンネル番号 99 以下をバンク 0、199 以下をバンク 1、299 以下をバンク 2 として設定します。
- 300 を指定すると表示されている CALL チャンネルデータが設定されます。このとき P15 は不定となります。

MW		メモリーチャンネルの書き込み									
Set		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
		M	W	P1	P2	P3	P3	P4	P4	P4	P4
		11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
		P4	P4	P4	P4	P4	P4	P5	P6	P7	
		21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
		P8	P8	P9	P9	P10	P10	P10	P11	P12	P13
		31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
		P13	P13	P13	P13	P13	P13	P13	P13	P14	P14
		41	42	43	44	45	46	47	48	49	50
		P15	P16	P16	P16	P16	P16	P16	P16	P16	;
Read											
Answer											

パラメーター

- P1: 0=受信 1=送信
- ただし、区間指定チャンネルが設定されている場合は、0 が下限周波数の指定値、1 が上限周波数の指定値となります。
- P2、P3: バンク指定。チャンネル番号 (MC コマンド参照)
- P4: 周波数を 1kHz オーダーで表示。未使用桁は 0 を入力。
- P5: モード。(MD コマンド参照)
- P6: 0=ロックアウト OFF、1=ロックアウト ON
- P7: 0=OFF、1=TONE、2=CTCSS、3=DCS
- P8: TONE 周波数 (TN コマンド参照)
- P9: CTCSS 周波数 (CN コマンド参照)
- P10: DCS コード (QC コマンド参照)
- P11: リバース情報
- P12: シフト情報 (OS コマンド参照)
- P13: オフセット周波数 (OF コマンド参照)
- P14: ステップ (ST コマンド参照)
- P15: メモリーグループ (0~9 で指定します)
- P16: メモリーネーム。最大 7 バイトの可変長です。

- 指定したメモリーチャンネルを空きチャンネルにするときは、全て 0 を送ります。
- メモリーチャンネル番号 99 以下をバンク 0、199 以下をバンク 1、299 以下をバンク 2 として設定します。

MU		メモリーグループの設定、読み出し									
Set		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
		M	U	P1	P2	P3	P4	P5	P6	P7	P8
		11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
		P9	P10	;							
Read		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
		M	U	;							
Answer		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
		M	U	P1	P2	P3	P4	P5	P6	P7	P8
		11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
		P9	P10	;							

パラメーター

- P1: グループ 0 の ON/OFF。0=OFF (非選択)、1=ON (選択)
- P2: グループ 1 の ON/OFF。0=OFF (非選択)、1=ON (選択)
- P3: グループ 2 の ON/OFF。0=OFF (非選択)、1=ON (選択)
- P4: グループ 3 の ON/OFF。0=OFF (非選択)、1=ON (選択)
- P5: グループ 4 の ON/OFF。0=OFF (非選択)、1=ON (選択)
- P6: グループ 5 の ON/OFF。0=OFF (非選択)、1=ON (選択)
- P7: グループ 6 の ON/OFF。0=OFF (非選択)、1=ON (選択)
- P8: グループ 7 の ON/OFF。0=OFF (非選択)、1=ON (選択)
- P9: グループ 8 の ON/OFF。0=OFF (非選択)、1=ON (選択)
- P10: グループ 9 の ON/OFF。0=OFF (非選択)、1=ON (選択)

- 設定コマンドでは 1~9 のとき ON となります。

PC コマンド

NB ノイズブランカーの設定、読み出し												パラメーター P1 0: NB OFF 1: NB ON									
Set		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10										
		N	B	P1	;																
Read		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10										
		N	B	;																	
Answer		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10										
		N	B	P1	;																

NL ノイズブランカーレベルの設定、読み出し												パラメーター P1 001(min)~010(max) ・クオンタイズ処理 000~001は、レベル1となる。 010~999は、レベル10となる。									
Set		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10										
		N	L	P1	P1	P1	;														
Read		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10										
		N	L	;																	
Answer		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10										
		N	L	P1	P1	P1	;														

NR ノイズリダクションの設定、読み出し												パラメーター P1 0: NR OFF 1: NR1(ラインエンハンサ) ON 2: NR2(SPAC) ON									
Set		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10										
		N	R	P1	;																
Read		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10										
		N	R	;																	
Answer		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10										
		N	R	P1	;																

NT ノッチフィルターの設定、読み出し												パラメーター P1 0: AUTO NOTCH OFF 1: AUTO NOTCH ON									
Set		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10										
		N	T	P1	;																
Read		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10										
		N	T	;																	
Answer		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10										
		N	T	P1	;																

OF オフセット周波数の設定、読み出し												パラメーター P1 0~059950000の範囲で50000ステップの入力となります。									
Set		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10										
		O	F	P1	P1	P1	P1	P1	P1	P1	P1										
		11	12	13	14	15	16	17	18	19	20										
		P1	;																		
Read		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10										
		O	F	;																	
Answer		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10										
		O	F	P1	P1	P1	P1	P1	P1	P1	P1										
		11	12	13	14	15	16	17	18	19	20										
		P1	;																		

PC コマンド

OI	非操作バンドの状態を読み出す										パラメーター P1: 周波数、未使用桁は“ 0” を入力します P2: STEP周波数 P3: RIT/XIT周波数、5バイト固定長、± 9999、プラス時はスペース P4: 0/1の数字、0=RIT OFF、1=RIT ON P5: 0/1の数字、0=XIT OFF、1=XIT ON P6、P7: バンク指定、チャンネルNo.(MCコマンドパラメーター参照) P8: 0/1の数字、0=RX、1=TX P9: モード(MDコマンドパラメーター参照) P10: ファンクション(FR/FTコマンドパラメーター参照) P11: スキャン状態(SCコマンドパラメーター参照) P12: スプリット状態(SPコマンドパラメーター参照) P13: 0~3の数字、0=OFF、1=TONE、2=CTCSS、3=DCS P14: TONE周波数(TNコマンドパラメーター参照) P15: シフト情報(OSコマンドパラメーター参照)
Set											
Read	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	O	I	;								
Answer	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	O	I	P1	P1	P1	P1	P1	P1	P1	P1	
	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
	P1	P1	P1	P2	P2	P2	P2	P2	P3	P3	
	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	P3	P3	P3	P4	P5	P6	P7	P7	P8	P9	
	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	
	P10	P11	P12	P13	P14	P14	P15	;			

パラメーターP2を4バイト、パラメーターP3を6バイトとします。
 パラメーターP2 (STEP周波数) およびP15 (シフト情報) はバンクとします。操作バンド側の情報を返します。
 ただし、サブ・バンドのときはサブ・バンドに無関係な情報は無視します。

OS	オフセットの設定、読み出し										パラメーター P1 0: SIMPLEX 1: + (or D-A) 2: - (or D-B) ・FMモード時のみ設定可能です。SPLIT時は設定できません。
Set											
Read	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	O	S	;								
Answer	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	O	S	P1	;							

PA	プリアンプの設定、読み出し										パラメーター P1 0: プリアンプ OFF 1: プリアンプ ON P2 0: (サブ) プリアンプ OFF 1: (メイン) プリアンプ ON ※設定コマンドのP1は操作バンド側の設定となります。 ※メイン、サブ・バンドが同じバンドであれば、同時にON/OFFします。
Set											
Read	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	P	A	;								
Answer	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	P	A	P1	;							

PB	DRU、エレクトロニックキーヤーの再生状態の設定、読み出し										パラメーター P1 0: 非再生時 (設定コマンドでは再生停止) 1: 1ch再生状態、指示 2: 2ch再生状態、指示 3: 3ch再生状態、指示
Set											
Read	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	P	B	;								
Answer	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	P	B	P1	;							

PC	送信出力の設定、読み出し										パラメーター P1 100Wタイプ 005~100、1ステップ(HF~144MHz帯のAMモード以外) 005~025、1ステップ(HF~144MHz帯のAMモード) 005~050、1ステップ(430MHz帯のAMモード以外) 005~013、1ステップ(430MHz帯のAMモードは013で12.5W設定) 50Wタイプ 005~050、1ステップ(HF~430MHz帯のAMモード以外) AMモードは100Wタイプと同じです。 20Wタイプ 001~010、1ステップ(HF帯のAMモード以外) 001~020、1ステップ(50~430MHz帯のAMモード以外) 001~005、1ステップ(HF帯~430MHz帯のAMモード) 1200MHz帯 (全タイプ共通) 001~010、1ステップ(AMモード以外) 001~003、1ステップ(AMモードは003で2.5W設定) 144MHzでPC051以上のコマンドを入力しても50Wになります。
Set											
Read	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	P	C	;								
Answer	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	P	C	P1	P1	P1	;					

PC コマンド

PI	PMへの登録										パラメーター P1 1~5 (チャンネル番号)	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
	Set	P	I	P1	;							
	Read											
Answer												

PK	バケットクラスター情報の読み出し										注意 オートインフォメーションの応答時のみに使用されます。 応答コマンドはバケットクラスターのデータを新しく受信したとき出力されます。 パラメーター P1 周波数 (11桁)、フォーマットはFA/FBと同様です。 P2 コールサイン (12桁) 先詰めとし、文字列が12桁に満たないときは残りをブランクとします。 P3 コメント (20桁) 先詰めとし、文字列が20桁に満たないときは残りをブランクとします。 P4 時刻 (5桁)	
	Set											
	Read											
	Answer	1	2	3	4	5	6	7	8	9		10
	P	K	P1	P1	P1	P1	P1	P1	P1	P1		
	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20		
	P1	P1	P1	P2	P2	P2	P2	P2	P2	P2		
	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		
	P2	P2	P2	P2	P2	P3	P3	P3	P3	P3		
	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40		
	P3	P3	P3	P3	P3	P3	P3	P3	P3	P3		
	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50		
	P3	P3	P3	P3	P3	P4	P4	P4	P4	P4		
	51											
	;											

PL	スピーチプロセッサ入出力レベルの設定、読み出し										パラメーター P1 入力レベル 000(min)~100(max) P2 出力レベル 000(min)~100(max)	
	Set	1	2	3	4	5	6	7	8	9		10
		P	L	P1	P1	P1	P2	P2	P2	;		
	Read	1	2	3	4	5	6	7	8	9		10
	P	L	;									
Answer	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
	P	L	P1	P1	P1	P2	P2	P2	;			

PM	PMの読み出し										パラメーター P1 0: PM OFF 1~5: チャンネル番号 (1~5) ・表示データは、必要なコマンドを使用して読み出します。		
	Set	1	2	3	4	5	6	7	8	9		10	
		P	M	P1	;								
	Read	1	2	3	4	5	6	7	8	9		10	
	P	M	;										
Answer	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10			
	P	M	P1	;									

PR	スピーチプロセッサON/OFF設定、読み出し										パラメーター P1 0: スピーチプロセッサ OFF 1: スピーチプロセッサ ON		
	Set	1	2	3	4	5	6	7	8	9		10	
		P	R	P1	;								
	Read	1	2	3	4	5	6	7	8	9		10	
	P	R	;										
Answer	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10			
	P	R	P1	;									

PC コマンド

PS	電源のON/OFF設定、読み出し										パラメーター P1 0：電源 OFF 1：電源 ON ・パネル面POWERスイッチによる電源OFF時も動作します。ただし、POWER ONコマンド（PS1;）出力前にタミデータを出力する必要があります。	
	Set	1	2	3	4	5	6	7	8	9		10
	Read	1	2	3	4	5	6	7	8	9		10
	Answer	1	2	3	4	5	6	7	8	9		10
		P	S	P1	;							
		P	S	;								
		P	S	P1	;							

QC	DCSコードの設定、読み出し										パラメーター P1 000~103（DCSコード） 000:023, 001:025, 002:026, 003:031, 004:032, 005:036 006:043, 007:047, 008:051, 009:053, 010:054, 011:065 012:071, 013:072, 014:073, 015:074, 016:114, 017:115 018:116, 019:122, 020:125, 021:131, 022:132, 023:134 024:143, 025:145, 026:152, 027:155, 028:156, 029:162 030:165, 031:172, 032:174, 033:205, 034:212, 035:223 036:225, 037:226, 038:243, 039:244, 040:245, 041:246 042:251, 043:252, 044:255, 045:261, 046:263, 047:265 048:266, 049:271, 050:274, 051:306, 052:311, 053:315 054:325, 055:331, 056:332, 057:343, 058:346, 059:351 060:356, 061:364, 062:365, 063:371, 064:411, 065:412 066:413, 067:423, 068:431, 069:432, 070:445, 071:446 072:452, 073:454, 074:455, 075:462, 076:464, 077:465 078:466, 079:503, 080:506, 081:516, 082:523, 083:526 084:532, 085:546, 086:565, 087:606, 088:612, 089:624 090:627, 091:631, 092:632, 093:654, 094:662, 095:664 096:703, 097:712, 098:723, 099:731, 100:732, 101:734 102:743, 103:754	
	Set	1	2	3	4	5	6	7	8	9		10
	Read	1	2	3	4	5	6	7	8	9		10
	Answer	1	2	3	4	5	6	7	8	9		10
		Q	C	P1	P1	P1	;					
		Q	C	;								
		Q	C	P1	P1	P1	;					

QI	クイックメモリーの登録										パラメーター パラメーターなし	
	Set	1	2	3	4	5	6	7	8	9		10
	Read	1	2	3	4	5	6	7	8	9		10
	Answer	1	2	3	4	5	6	7	8	9		10
		Q	I	;								

QR	クイックメモリーのON/OFF設定、およびチャンネルデータの読み出し										パラメーター P1 0：クイックメモリー OFF 1：クイックメモリー ON 2：チャンネル番号 0~9（OFFのときは無視されます。）	
	Set	1	2	3	4	5	6	7	8	9		10
	Read	1	2	3	4	5	6	7	8	9		10
	Answer	1	2	3	4	5	6	7	8	9		10
		Q	R	P1	P2	;						
		Q	R	;								
		Q	R	P1	P2	;						

QR	クイックメモリーのON/OFF設定、およびチャンネルデータの読み出し										パラメーター P1 0：クイックメモリー OFF 1：クイックメモリー ON 2：チャンネル番号 0~9（OFFのときは無視されます。）	
	Set	1	2	3	4	5	6	7	8	9		10
	Read	1	2	3	4	5	6	7	8	9		10
	Answer	1	2	3	4	5	6	7	8	9		10
		Q	R	P1	P2	;						
		Q	R	;								
		Q	R	P1	P2	;						

PC コマンド

RC	RIT周波数をクリアする										パラメーター パラメーターなし
Set	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	・ RIT周波数とXIT周波数が同じセットは、RCでXIT周波数もクリアされます。 RIT/XITがVR等、位置によって値が決まるセットの場合、このコマンドを実行すると、RITツマミの位置と異なったRIT周波数になります。再度RITツマミを回すことにより、元の位置に対応したRIT周波数に戻ります。
Read	R	C	;								
Answer											

RD/RU	RIT/XIT周波数のUP/DOWN SCAN中のSCANスピード設定および読み出し										パラメーター P1: 00000~99999の数字 (RIT/XIT周波数幅: 単位=HZ) P2: 1~9の数字 (SCANスピード) ・ スキャンOFF時は、RIT/XIT周波数変更に使用します。パラメータ無し時は1ステップとして動作します。パラメータ有りの時、パラメータで示されるRIT/XIT周波数が、RUコマンド使用時は+方向に、RDコマンド使用時は-方向に設定されます。 ・ スキャンON時は、スキャンスピードの設定および読み出しに使用します。スキャンスピードが変化すると応答コマンドを返します。 SCAN時にRD;RU;で現在のスキャンスピードを呼び出し、SCAN時にRD*****;でスキャンスピードの1 ダウン。SCAN時にRU*****;でスキャンスピードの1 アップ。上記の「*」は問いません。
Set	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	・ スキャンOFF時は、RIT/XIT周波数変更に使用します。パラメータ無し時は1ステップとして動作します。パラメータ有りの時、パラメータで示されるRIT/XIT周波数が、RUコマンド使用時は+方向に、RDコマンド使用時は-方向に設定されます。 ・ スキャンON時は、スキャンスピードの設定および読み出しに使用します。スキャンスピードが変化すると応答コマンドを返します。 SCAN時にRD;RU;で現在のスキャンスピードを呼び出し、SCAN時にRD*****;でスキャンスピードの1 ダウン。SCAN時にRU*****;でスキャンスピードの1 アップ。上記の「*」は問いません。
Read	R	D/U	P1	P1	P1	P1	P1	;			
Answer	R	D/U	P2	;							

RG	RF GAINの設定、読み出し										パラメーター P1 000(min)~255(max)
Set	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
Read	R	G	P1	P1	P1	;					
Answer	R	G	P1	P1	P1	;					

RL	ノイズリダクションレベルの設定、読み出し										パラメーター P1 NR1 ON時: 00=AUTO、01~09=固定効果レベル NR2 ON時: 00(2ms)~09(20ms)、2msステップで10段階
Set	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
Read	R	L	P1	P1	;						
Answer	R	L	P1	P1	;						

RM	メーター選択、メーター値読み出し										パラメーター P1 メーター選択 0: 非選択 (設定不可) 1: SWR 2: COMP 3: ALC 4: 未使用 5: 未使用 6: 未使用 P2 メーター値。メーター表示上のドット数を示します。 0000~0030
Set	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
Read	R	M	P1	;							
Answer	R	M	P1	P2	P2	P2	P2	;			

RT	RIT機能の設定、読み出し										パラメーター P1 0: RIT機能 OFF 1: RIT機能 ON
Set	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
Read	R	T	P1	;							
Answer	R	T	P1	;							

PC コマンド

RX/TX	送受信状態の設定										パラメーター P1 0: メイン・バンドの受信/送信 1: サブ・バンドの受信/送信
Set	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
Read											
Answer	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	R/T	X	P1	;							

SA	サテライトモードの設定、読み出し										パラメーター P1: 0=サテライトモード OFF、1=サテライトモード ON P2: 0~9 (チャンネル番号) P3: 0=周波数表示がメイン・バンドはアップリンク、サブ・バンドはダウンリンク 1=周波数表示がメイン・バンドはダウンリンク、サブ・バンドはアップリンク P4: 0=メイン・バンドがコントロールバンド 1=サブ・バンドがコントロールバンド P5: 0=トレースOFF、1=トレースON P6: 0=トレースリバーズOFF (差が一定) 1=トレースリバーズON (和が一定) P7: MULTI/CHつまみの操作切り替え 0=VFOモード (周波数変更) 1=メモリーモード (メモリーチャンネル変更) P8: サテライトメモリーネーム (0~8バイト可変長) ・FA (ダウンリンク周波数) またはFB (アップリンク周波数) コマンドで周波数を可変します。
Set	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
Read											
Answer	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	S	A	P1	P2	P3	P4	P5	P6	P7	P8	
	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
	P8	P8	P8	P8	P8	P8	P8	;			

SB	SUB、TF-Wの設定、読み出し										パラメーター P1 0: SUB(TF-W) OFF 1: SUB(TF-W) ON
Set	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
Read											
Answer	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	S	B	P1	;							

SC	各種SCANの設定、読み出し										パラメーター P1 0: スキャン OFF 1: スキャン ON 2: MHzスキャン ON 3: ビジュアルスキャン ON 4: TONEスキャン ON 5: CTCSSスキャン ON 6: DCSスキャン ON ・VFO時はプログラムスキャンまたはVFOスキャンでセットの状態による。 ・MCH時はメモリースキャンで、グループスキャンまたはオールスキャンがセットの状態により決まります。 ・CALL時はCALLスキャンとなります。
Set	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
Read											
Answer	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	S	C	P1	;							

SD	ブレイクインのディレイタイムの設定、読み出し										パラメーター P1 0000~1000 (50msステップ) 0000はフルブレイクインとなります。
Set	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
Read											
Answer	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	S	D	P1	P1	P1	P1	;				

PC コマンド

	スローブチューン帯域の設定、読み出し										
Set	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	パラメーター P1 ・SSB/FMモード時のLOW CUTは00~11の12段階です。 00:10, 01:50, 02:100, 03:200, 04:300, 05:400, 06:500 07:600, 08:700, 09:800, 10:900, 11:1000Hz ・SSB/FMモード時のHIGH CUTは0011の12段階です。 00:1400, 01:1600, 02:1800, 03:2000, 04:2200, 05:2400 06:2600, 07:2800, 08:3000, 09: 3400, 10:4000, 11:5000Hz ・メニュー50AをONにした時は、SSBおよびFMモード時のSH/SLコマンドの内容が次のように変わります。 SLコマンドの選択肢は 00: WIDTH Wide, 01: WIDTH Narrow SHコマンドの選択肢は 00: SHIFT 1700Hz, 01: SHIFT 1930Hz 02: SHIFT 2160Hz, 03: SHIFT PKS AMモード時のLOW CUTは 00: 10, 01: 100, 02: 200, 03: 500Hz AMモード時のHIGH CUTは 00: 2500, 01: 3000, 02: 4000, 03: 5000Hz
	S	H/L	P1	P1	;						
Read	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	S	H/L	;								
Answer	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	S	H/L	P1	P1	;						

	サテライトメモリーへの登録										
Set	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	パラメーター P1 チャンネル番号 (0~9) P2 サテライトメモリーネーム (0~8バイトの可変長)
	S	I	P1	P2	P2	P2	P2	P2	P2	P2	
	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
Read	P2	;									
Answer											

	Sメーター値の読み出し										
Set											パラメーター P1 0: メイン・バンド 1: サブ・バンド 2: メイン・バンドSメータスケルチレベル 3: サブ・バンドSメータスケルチレベル P2 メータ値。メータ表示上のドット数 0000~0030 (メイン・バンド) 0000~0015 (サブ・バンド) ※受信時はSメーター、送信時はRFメーターの値となります。
	Read	S	M	P1	;						
Answer	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	S	M	P1	P2	P2	P2	P2	;			

	スケルチレベルの設定、読み出し										
Set	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	パラメーター P1 0: メイン・バンド 1: サブ・バンド P2 SQレベル: 000~255
	S	Q	P1	P2	P2	P2	;				
Read	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	S	Q	P1	;							
Answer	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	S	Q	P1	P2	P2	P2	;				

	セットのリセット										
Set	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	パラメーター P1 1: VFOリセット (A/Bリセット) 2: FULLリセット (A=Bリセット)
	S	R	P1	;							
Read											
Answer											

PC コマンド

SS	プログラムポーズスキンの周波数の設定										パラメーター P1 0: 未設定 1: 設定 2: オールクリア (設定コマンドのみ)	
	Set	1	2	3	4	5	6	7	8	9		10
	Read	1	2	3	4	5	6	7	8	9		10
	Answer	1	2	3	4	5	6	7	8	9		10
	S	S	P1	;								
	S	S	;									
	S	S	P1	;								

ST	クリックエンコーダステップの設定、読み出し										パラメーター P1 SSB/CW/FSKモード時00~03 00: 1、01: 2.5、02: 5、03: 10kHz AM/FMモード時00~09 00: 5、01: 6.25、02: 10、03: 12.5、04: 15、05: 20、 06: 25、07: 30、08: 50、09: 100kHz	
	Set	1	2	3	4	5	6	7	8	9		10
	Read	1	2	3	4	5	6	7	8	9		10
	Answer	1	2	3	4	5	6	7	8	9		10
	S	T	P1	P1	;							
	S	T	;									
	S	T	P1	P1	;							

SU	プログラムスキニンググループおよびメモリスキニンググループの設定、読み出し										パラメーター P1: 0=プログラムスキニンググループ、 1=メモリスキニンググループ P2: グループ0の設定。0=非選択、1=選択 P3: グループ1の設定。0=非選択、1=選択 P4: グループ2の設定。0=非選択、1=選択 P5: グループ3の設定。0=非選択、1=選択 P6: グループ4の設定。0=非選択、1=選択 P7: グループ5の設定。0=非選択、1=選択 P8: グループ6の設定。0=非選択、1=選択 P9: グループ7の設定。0=非選択、1=選択 P10: グループ8の設定。0=非選択、1=選択 P11: グループ9の設定。0=非選択、1=選択 * 設定コマンドでは、P2~11は1~9のとき「選択」となりません。	
	Set	1	2	3	4	5	6	7	8	9		10
	Read	1	2	3	4	5	6	7	8	9		10
	Answer	1	2	3	4	5	6	7	8	9		10
	S	U	P1	P2	P3	P4	P5	P6	P7	P8		
	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20		
	P9	P10	P11	;								
	S	U	P1	;								
	S	U	P1	P2	P3	P4	P5	P6	P7	P8		
	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20		
	P9	P10	P11	;								

SV	メモリーシフト (M>V動作)										パラメーター パラメーターなし		
	Set	1	2	3	4	5	6	7	8	9		10	
	Read												
	Answer												
	S	V	;										

TC	PCコントロールモード/パケットモードの切り替										パラメーター P1 バンク指定、スペースを入力してください P2 0: パケットモード (TCコマンド以外受け付けません) 1: PCコントロールモード ※TC 1;と打つとPCコントロールモードに戻ります。	
	Set	1	2	3	4	5	6	7	8	9		10
	Read	1	2	3	4	5	6	7	8	9		10
	Answer	1	2	3	4	5	6	7	8	9		10
	T	C	P1	P2	;							
	T	C	;									
	T	C	P1	P2	;							

PC コマンド

TD	DTMFメモリー送信										パラメーター P1 00～09の全10チャンネル ・メモリーされていないチャンネルを指定した場合はエラーになります。	
	Set	1	2	3	4	5	6	7	8	9		10
		T	D	P1	P1	;						
	Read											
Answer												

TI	TNCのLED情報読み出し										パラメーター P1 0：9.6k消灯、1：9.6k点灯 P2 0：STA消灯、1：STA点灯 P3 0：CON消灯、1：CON点灯	
	Set											
	Read	1	2	3	4	5	6	7	8	9		10
		T	I	;								
Answer	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
	T	I	P1	P2	P3	;						

TN	サブトーン周波数の設定、読み出し										パラメーター P1 01～39の数字 サブトーン周波数は33ページをご覧ください。	
	Set	1	2	3	4	5	6	7	8	9		10
		T	N	P1	P1	;						
	Read	1	2	3	4	5	6	7	8	9		10
	T	N	;									
Answer	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
	T	N	P1	P1	;							

TO	TONEの設定、読み出し										パラメーター P1 0：TONE OFF 1：TONE ON 2：無線機の「TONE」スイッチをONにしたときの動作を行う 3：無線機の「TONE」スイッチをOFFにしたときの動作を行う	
	Set	1	2	3	4	5	6	7	8	9		10
		T	O	P1	;							
	Read	1	2	3	4	5	6	7	8	9		10
	T	O	;									
Answer	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
	T	O	P1	;								

TS	TF-SETの設定、読み出し										パラメーター P1 0：TF-SET OFF 1：TF-SET ON リバースの設定、読み出しの場合 ・リバースON/OFFの設定コマンドは「TS1;」を送ることに より、トグルで切り替わります。	
	Set	1	2	3	4	5	6	7	8	9		10
		T	S	P1	;							
	Read	1	2	3	4	5	6	7	8	9		10
	T	S	;									
Answer	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
	T	S	P1	;								

UL	PLLのロック状態の読み出し										パラメーター P1 0：ロック状態 1：アンロック状態 ・AがONでPLLの状態に変化があると返します。	
	Set											
	Read											
	Answer	1	2	3	4	5	6	7	8	9		10
	U	L	P1	;								

PC コマンド

VD	VOXのディレータイムの設定、読み出し										パラメーター P1 0000~3000 (150msステップ)	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
	Set	V	D	P1	P1	P1	P1	;				
	Read	V	D	;								
Answer	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
	V	D	P1	P1	P1	P1	;					

VG	VOX GAINの設定、読み出し										パラメーター P1 VOXゲイン：000~009	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
	Set	V	G	P1	P1	P1	;					
	Read	V	G	;								
Answer	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
	V	G	P1	P1	P1	;						

VR	音声合成機能の発声										パラメーター P1 1: VOICE1 ON 2: VOICE2 ON	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
	Set	V	R	P1	;							
	Read											
Answer												

VX	VOX機能の設定、読み出し										パラメーター P1 0: VOX機能 OFF 1: VOX機能 ON	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
	Set	V	X	P1	;							
	Read	V	X	;								
Answer	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
	V	X	P1	;								

XT	XIT機能の設定、読み出し										パラメーター P1 0: XIT機能 OFF 1: XIT機能 ON	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
	Set	X	T	P1	;							
	Read	X	T	;								
Answer	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
	X	T	P1	;								